

逗子小だより

2025年3月24日(月)最終号

逗子市立 逗子小学校

逗子市逗子 4-2-45

046-873-2050

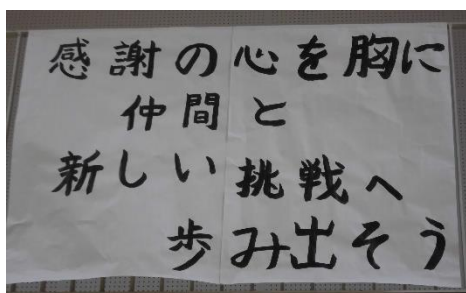
校長 萩山 英廷

ホームページ URL <https://www.city-zushi.ed.jp/e-zushi/>

ホームページ QRコード



第150回 逗子小学校卒業証書授与式が開催されました



3月19日(水)に 第150回 逗子小学校卒業証書授与式が開催され、128名の卒業生が

逗子小学校を巣立っていきました。

校長からのお祝いの言葉(一部抜粋)を掲載します。

私が、逗子市で先生として働きはじめて以来、公私ともに今でも親しくしている先生たちが何人かいます。1年目の夏の研修で知り合った先生たちです。

その中のひとりに中学校の体育の先生います。名前を腰塚勇人(こしづか はやと)さんと言います。自らを「熱血教師」と言い、学生時代はバスケットボールの選手で、スキーも1級の腕前のスポーツ万能、体も大きく頑丈でとても熱い男でした。

初めて出会ってから5年くらいは、一緒にテニスをしたり、ハイキングに行ったり、スキーにも行ったり、会う機会も多かったのですが、10年ほどすると、お互い仕事も忙しくなり、働いている地区も違ったので、みんなで会う機会も少なくなり、連絡も取らなくなっていきました。

彼に再び会ったのは、仕事帰りに立ち寄った本屋でした。店に入ると、平積みされた数々の本があり、その中の本の表紙に「腰塚」という名前を見つけました。

珍しい字の名前だったので、「世の中には同じ苗字の人もいるんだな」と思った次の瞬間、自分の目を疑いました。表紙に書いてあった著者の名前は「腰塚勇人(こしづか はやと)」その人だったのです。

さらに驚いたことに、表紙を飾る写真には、首にコルセットをまいて、病室のベッドの上に横たわっている彼の姿がありました。その時目にしたのは、この本「命の授業」です。

本を手に取り、ページをめくると、スキーの事故でクビの骨を折り重傷を負い、お医者さんから、一生寝たきりの生活になるかもしれないと、宣告されたことを知りました。体を動かすことが何よりも好きな彼にとっては、残酷な宣告だったでしょう。

様々な後悔や絶望の中、生きることさえ諦めかけたとき、自分を助けてくれる家族や仲間たちの存在にあらためて気がつきます。今のすべてを受け入れて、いつも「笑顔」でいよう。全てのことに「感謝」しよう。そう思い始めたとき、奇跡がおこりました。全く動かなかった手足が事故から10日後に動き始めたのです。立ち上がり、歩ける喜び。しゃべれる喜び。字が書け、お箸が使える喜び。当たり前なのに、感謝と幸せを見つけたと、腰塚さんは言っています。

その後、先生としてもう一度、教室に戻りたいという夢を抱き、その夢を叶えるために、不屈の精神で、懸命にリハビリを続けます。

事故から4か月後、再び奇跡が起こりました。彼は、中学校3年の学級担任として再び教室に戻ることができたのです。

諦めなければどんな苦しいことをも乗り越えることができることを、私は自分の友人から教えられました。

逗子小学校を卒業する皆さんには、楽しく幸せな人生を歩んで欲しいと思っています。しかしながら、楽しく幸せなことばかりではありません。つらい出来事に出会うこともあるでしょう。その時には、腰塚さんのように苦しい状況でも決してあきらめることなく、乗り越えた人がいたことを思い出してほしいと思っています。

腰塚さんは、先生として再起を果たす時、「5つの誓い」を立てました。その「5つの誓い」を卒業生の皆さんに送りたいと思います。

『5つの誓い』

- ①「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう…
- ②「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう…
- ③「目」は、人のよいところを見るために使おう…
- ④「手足」は、人を助けるために使おう…
- ⑤「心」は、人の痛みがわかるために使おう…

この「5つの誓い」のように、皆さんが、自分の体と心を使うことができれば、自然と素敵な仲間が皆さんの周りに集まるでしょう。皆さんの夢を実現に導く力にもなってくれると思います。

新たなステージでも、困難に負けず、前へ前へと突き進んで行く皆さんであって欲しいです。また、他人のことを思いやり、他人の痛みを感じる優しい心も忘れないでください。そして、その気持ちを行動に移すことのできる行動力も持ってほしいと思います。

6年間、ここにいる友達と、友情を深めてきた皆さんです。これから出会う人たちとも 友情を築き、育むことがきっとできるでしょう。

「感謝の心を胸に 仲間と 新しい挑戦へ 歩みだそう！」

卒業に向けて、皆さんが考えたスローガンです。

今日の卒業式は、ゴールではなくスタートです。皆さんの未来への扉は開かれたばかりです。新しい挑戦が待っている未来へ歩みだす第一歩が今日の日です。自らの可能性を信じ、努力を怠らず、どんなことがあっても決してあきらめず、幸せな未来を歩んで欲しいと思っています。今後のご活躍を心よりお祈りしています。

ご卒業おめでとうございます!!

2025年(令和7年) 3月19日

逗子市立逗子小学校校長 松山 英廷

2024年度もありがとうございました

明日、全校児童が、『今年度を振り返り、進級へのイメージを持つこと』をねらいとした修了式を行います。また、各担任からあゆみをお渡しさせていただきます。「あゆみ」には、後期における各教科の評価や、年間を通しての「学習・生活のようす」「特別の教科「道徳」の評価」などが記載されています。各学級担任がこの一年間の子どもたちの育ちの姿を思い浮かべ、一人ひとり時間をかけて丁寧に書きました。「あゆみ」を見ながら、ぜひご家庭でお子さんと一緒に、後期に学んだことや1年間に取り組んだことなどを振り返ってみてほしいと思います。

一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。(→写真：今年度の逗子小学校のみんなの「いいところずっとみつけよう～いずみの木～」)



お知らせ

★次年度の進級に向けて、年度末に保健関係書類を封筒に入れて配付します。

封筒の中身を確認していただき、必要事項の記入と封筒の表にチェック、押印をお願いします。(新クラス・出席番号については空欄で構いません。)また、児童調査票(オレンジの紙)は、今年度の用紙は破棄し、新しい用紙を記入の上、封筒に入れてください。4月7日(月)に新担任に提出をお願いします。

★白衣について 現1年生から5年生は引き続き学校のものを使用します。2025年度入学の新1年生から各御家庭で購入していただくこととなります

★学校に来校される際は、名札の着用をお願いします。

～子どもたちが本と親しむために～1年間ありがとうございました



今年度も1年生25回、2年生16回、3年生16回、4年生9回、5年生4回、6年生4回と各学年の子どもたちが読み聞かせを楽しませていただきました。朝の時間や給食後の掃除の時間に、延べ113名(昨年度より22名増えました!)の読み聞かせボランティアの皆さんが「子どもたちが喜んでくれる本」を用意し、読み聞かせをしてくださいました。



また、休み時間に図書室で本の貸し借り等をサポートしてくださった方は37名、図書のラベル貼りに18名とご協力いただきました。子どもたちのために1年間、本当にありがとうございました。

離退任者のご紹介

3月25日(火)、修了式と離退任式が行われます。今年度いっぱいでお別れする教職員やお休みする教職員を紹介します。異動先については、3月末の新聞記事等でご確認くださいようお願いします。

なお、以前4月に行っておりました離退任式は、行いません。

円道 しのぶ 総括(養護)教諭 退職

戸崎 悠介 教諭 退職

西島 美樹 教諭 転勤

小西 範明 教諭 転勤

高司 智也 教諭 転勤

塩見 幸大 教諭 転勤

遠藤 ちづる 事務職員 転勤

～育児休業～

佐々木 萌美 教諭、遠藤 安寿香 教諭、片山 侑加理 教諭

池口 理麻 教諭 退職

吉川 裕美 総括教諭 退職

内海 沙映 教諭 転勤

鹿島 和寿美 教諭 転勤

吉田 幸紘 教諭 長期研修

小谷 慶子 学習支援員 転勤



逗子小学校 学校教育目標



めざす子ども像

元気な子

よく考える子

進んで取り組む子

人との関わりを大切にする子

めざす学校像

子どもの安全・安心が確保されている学校(危機管理)

子ども一人ひとりが大切にされる学校(自己肯定感)

なごやかで思いやりにあふれる学校(温かい人間関係)

自立と共生の基礎を培う文化的な豊かさのある学校(社会への適応)

わかる授業・学びあう授業を展開する学校(学力の保障)

地域に開かれた教育活動を進める学校(連携・信頼)